カントリー・トレーダーとアヘン経済

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

群島の通貨としてのアヘン

中継貿易経済を語るうえで、アヘンを避けて通ることはできません。東南アジアの港では、インド産アヘンは交易品であり、交換手段であり、政府の歳入源でもありました。カントリー・トレーダー、すなわち東インド会社の許可を得て活動する英国系とインド系の民間商人は、カルカッタとボンベイから群島の港や中国沿岸へアヘンを運びました。シンガポールでは中国系の商人がこれを買い取り、小分けして包装し直し、域内の小さな港、錫鉱山、プランテーションへと再分配しました。[1]

アヘンは群島内を規則的に流通し、ほとんど貨幣の一形態となっていました。どこでも転売でき、重量当たりの価値が高いため運搬も容易だったことから、商人たちはアヘンを支払いとして受け入れたのです。先に挙げたブギス人の積荷のリストにも、彼らが持ち帰った品としてアヘンが含まれています。プランテーションや鉱山の労働者、その大半は中国からの移民

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

でしたが、彼らにとってアヘンは消費財であり、その購入が賃金の大きな部分を占めていました。そのため交易の利益は、アヘンを供給する商人と、これに課税する政府へと還流していきました。

シンガポールと中国向けアヘン貿易

最大のアヘン市場は中国にありました。中国では輸入が禁止されていましたが、沿岸では密輸が横行していました。広州、のちには香港の大手エージェンシー・ハウスの船が、インドから中国沿岸沖に停泊する受取船へアヘンを運びました。この交易はインドから中国へ直接向かうものであり、シンガポールは主要な経路ではありませんでした。しかし寄港地、補給基地、そして積荷の一部の市場としての役割を果たしていました。[2]1842年以降の条約港の開港と、同時期の香港の建設により、この役割分担は確定します。香港は中国向けアヘン貿易の中心となり、シンガポールは東南アジアの流通ネットワークの中心であり続けました。

歳入と責任

第II章で見たとおり、アヘン請負（opium farm）は植民地シンガポール政府の最も重要な歳入源となりました。請負権は中国系商人のシンジケートに競売にかけられ、彼らは植民地内でアヘンを加工・販売する独占権の対価を政府に支払いました。その利益が19世紀における中国系の最大級の財産のいくつかを築く助けとなったため、請負権の支配は対立する集団間の激しい競争の対象となりました。[3]こうして植民地の財政、有力商人の財産、そして労働者の賃金が、一つの商品によって結びつけられていたのです。

現代の読者は、この制度に居心地の悪さを覚えるでしょう。自由港の繁栄は、多くの消費者の健康を損ない、中国での販売が中国の法律に違反する交易に一部依存していました。金融センターの歴史を記す者は、この依存を弁護することも、時代錯誤的に断罪することもなく、記録しなければな

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

りません。これは、植民地時代の商品貿易から20世紀における脱税目的での銀行秘密の利用まで、本書で検討する他のエピソードと同じ範疇に属します。いずれも、のちにその正当性が問われる活動から金融センターが利益を得うることを示しています。パートEとパートHで検討するレピュテーション・リスクとコンプライアンスに関する教訓は、ここから始まるのです。

よくある誤解

シンガポールの初期の繁栄は主に中国向けアヘン貿易に依存していた、と考えられることがあります。しかし、アヘンの直接ルートはインドから中国沿岸へ、そして1842年以降は香港を経由して延びていました。シンガポールの役割は、主として東南アジアの地域流通センターとしてのものでした。そこでは、認可された請負制度の下で、アヘンが中国系の労働者や商人に販売されていたのです。請負収入は植民地政府の財政の多くを賄っていました。しかし港の交易全体ははるかに幅広く、織物、錫、胡椒、ガンビア、海産物、工業製品にまで及んでいました。

注

1. 東南アジアにおけるインド産アヘンの再分配でシンガポールが果たした役割については、Carl A. Trocki, *Opium and Empire: Chinese Society in Colonial Singapore, 1800–1910*, Ithaca, Cornell University Press, 1990、および Carl A. Trocki, *Opium, Empire and the Global Political Economy*, London, Routledge, 1999 参照。 ↩
2. インドから中国沿岸への直接ルートと比較した、中国向けアヘン貿易におけるシンガポールの副次的役割については、Michael Greenberg, *British Trade and the Opening of China 1800–42*, Cambridge, Cambridge University Press, 1951、および Trocki, *Opium and Empire* 参照。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

3. アヘン請負のシンジケートと請負権の支配をめぐる競争については、Trocki, *Opium and Empire*, 第4〜6章参照。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com